

1.適用範囲 この規格は、熱間加工したステンレス鋼棒(丸鋼、角鋼、六角鋼及び平鋼を総称して、以下、棒という。)について規定する。

3.種類の記号 棒の種類は、64種類とし、その分類及び種類の記号は、表1による。

6.機械的性質

6.2 オーステナイト系の機械的性質

固溶化熱処理を行った棒の機械的性質は、表8による。

この場合、供試材は、JIS G 0404の7.6のA類による。

ただし、耐力は注文者の指定がある場合に適用する。

表8 オーステナイト系の固溶化熱処理状態の機械的性質

種類の記号	耐力 N/mm ²	引張強さ N/mm ²	伸び %	絞り ^{a)} %	硬さ ^{b)}			適用寸法 (径、対辺距離又は厚さ)
					HBW	HRBS又はHRBW ^{c)}	HV	
SUS 304	205以上	520以上	40以上	60以上	187以下	90以下	200以下	180mm以下

注^{a)} 絞りは平鋼には適用しない。ただし、注文者の指定がある場合、絞りの規定値は受渡当事者間の協定による。

注^{b)} 硬さはいずれかの硬さによる。いずれの硬さを適用するかは、特に指定のない場合、製造業者の選択による。

注^{c)} HRBW 又は HRBS の測定は、いずれによってもよい。ただし、疑義が生じた場合の判断は HRBW による。

測定値の報告には、採用した測定方法 (HRBW 又は HRBS) を明記する。

表1 分類及び種類の記号

分類	種類の記号
オーステナイト系	SUS 304

1.適用範囲 この規格は、熱間圧延ステンレス鋼板(以下、板という。)及び熱間圧延ステンレス鋼帯(以下、帯という。)について規定する。

3.種類の記号 板及び帯の種類は、66種類とし、その分類及び種類の記号は、表1による。

6.機械的性質

6.2 オーステナイト系の機械的性質

オーステナイト系の機械的性質は、次による。

a) 固溶化熱処理を行った板及び帯の機械的性質は、表8による。ただし、耐力は、注文者の指定がある場合に適用する。

表8 オーステナイト系の固溶加熱処理状態の機械的性質

種類の記号	耐力 N/mm ²	引張強さ N/mm ²	伸び %	硬さ ^{a)}		
				HBW	HRBS又はHRBW ^{b)}	HV
SUS 304	205以上	520以上	40以上	187以下	90以下	200以下

注^{a)} 硬さは、いずれかの硬さによる。いずれの硬さを適用するかは、特に指定のない場合、製造業者の選択による。

注^{b)} HRBW 又は HRBS の測定は、いずれによってもよい。ただし、疑義が生じた場合の判断は HRBW による。

測定値の報告には、採用した測定方法 (HRBW 又は HRBS) を明記する。

表1 分類及び種類の記号

分類	種類の記号
オーステナイト系	SUS 304

1.適用範囲 この規格は、冷間圧延ステンレス鋼板(以下、板という。)及び冷間圧延ステンレス鋼帯(以下、帯という。)について規定する。

3.種類の記号 板及び帯の種類は、65種類とし、その分類及び種類の記号は、表1による。

6.機械的性質

6.1一般事項 一般事項は、次による。

a) 熱処理を行った板及び帯は、11.2によって試験を行い、その機械的性質は、6.2~6.6による。ただし、厚さ0.30mm未満の板及び帯については、引張試験を省略してもよい。

6.2 オーステナイト系の機械的性質

オーステナイト系の機械的性質は次のa)又はb)による。

a) 固溶化熱処理を行った板及び帯の機械的性質は、表8による。ただし、耐力は、注文者の指定がある場合に適用する。

表8 オーステナイト系の固溶加熱処理状態の機械的性質

種類の記号	耐力 N/mm ²	引張強さ N/mm ²	伸び %	硬さ ^{a)}		
				HBW	HRBS又はHRBW ^{b)}	HV
SUS 304	205以上	520以上	40以上	187以下	90以下	200以下

注^{a)} 硬さは、いずれかの硬さによる。いずれの硬さを適用するかは、特に指定のない場合、製造業者の選択による。

注^{b)} HRBW 又は HRBS の測定は、いずれによってもよい。ただし、疑義が生じた場合の判断は HRBW による。

測定値の報告には、採用した測定方法 (HRBW 又は HRBS) を明記する。

表1 分類及び種類の記号

分類	種類の記号
オーステナイト系	SUS 304